

政策評価・事務事業評価シート

事業名称 八王子山公園(墓所増設)整備事業

	H27 年度予算額	(参考) H26 年度決算額	(参考) H25 年度決算額
事業費	4,000,000 円	26,600,400 円 7,360,000 円 (H25 繰越分)	3,980,000 円

事業評価チェック表

PLAN	・事業の概要	八王子山公園墓地内の墓地造成可能地に 25・26 年度において墓地の最終造成を実施。19 号墓所は新設のため 27 年度に水汲み場施設の設置を行なう。
	・ねらい	墓基の残数が少なくなり、平成 22 年度より緊急分譲（焼骨をお持ちの方）のみ対応していたが、当墓園を望む声が多く寄せられているため増設を行い市民要望に答える。 参考：H24 年度末の状況（分譲数）3,035 基 / （造成済数）3,365 基 = （率）90.2%（残数）330 基
	・予算	平成 26 年度当初予算額 32,000,000 円
DO	・事業実績	現存の 6・9・10・11・12・13 号墓所に 166 基。さらに 19 号墓所を新設し 168 基を造成。計 334 基を増設しました。結果、墓所は 1～19 号墓所までの 16 か所（2・3・8 号は欠番）となり、合計墓基数は 3,699 基です。

CHECK	評価項目	評価基準（概要欄の○）	評価点	評価コメント		
	必要性 (市民ニーズ)	きわめて必要性が高い (20 点)	○	20	団塊世代の高齢化を考えると墓地需要がこれからも高まることが予想される。	
必要性が高い (15 点)						
どちらかと言えば必要性がある (10 点)						
必要性が低い (5 点)						
必要性がない (0 点)						
公共性 (市で行わなければならないか)	市が行わないといけない (20 点)		15	家族形態の変化により墓地のあり方も多様化している中で、民間、寺院と協力しながら、市民の墓地ニーズに答えていく必要がある。		
	公共性が高い (15 点)	○				
	どちらかと言えば市が実施 (10 点)					
	公共性が低い (5 点)					
	公共性がない (0 点)					
費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	きわめて効果的である (20 点)	○	20	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の購入費、造成費用は永代使用料で賄われ、年間の墓地管理料は管理運営にかかる年間経費に基づき必要最低限度の料金を徴収している。 ・墓地を拡張し、持続的な墓地を提供することで多くの市民が安心して本市に定住することができる。 		
	効果的である (15 点)					
	どちらかと言えば効果的 (10 点)					
	どちらかと言えば非効果的 (5 点)					
	非効果的である (0 点)					
優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	きわめて優先性が高い (20 点)		15	墓基残数が少なく、緊急分譲のみの対応をしている中で、一般分譲等の市民要望に応えるため、造成や芝の育成に時間を要する墓地整備を計画的に進める必要がある。		
	優先性が高い (15 点)	○				
	どちらかと言えば優先性がある (10 点)					
	優先性が低い (5 点)					
	優先性がない (0 点)					
成果 (目標の達成状況)	きわめて成果があがっている (20 点)	○	20	<ul style="list-style-type: none"> ・市民要望に対して、ほぼ当初計画どおりに実施できている。 ・公園墓地にふさわしい景観等の整備ができている。 		
	成果があがっている (15 点)					
	どちらかと言えばあがっている (10 点)					
	どちらかと言えばあがっていない (5 点)					
	成果はあがっていない (0 点)					
ACTION	総合評価基準		計	90/100	課題	
	評価	5 きわめて良好である	80 点以上	○	5	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに応じた墓地の拡充 ・墓地管理料の滞納対策 ・無縁墓地になった場合の対策 ・管理・運営方式の検討 ・管理棟の利用方法の検討
		4 適正である	60～79 点			
		3 おおむね適正である	40～59 点			
		2 問題がある	20～39 点			
		1 不適正である	19 点以下			

決算事業評価結果表

評価	今後の方向性基準評価（概要欄の○）		評価	決定理由		
	5 「拡充する」	○			5	墓地需要がこれからも高まることから、墓地を拡充していくことが求められているが、造成スペースや用地の確保などの問題もあることから、新たな埋葬方法を検討した上での拡充が必要である。
	4 「現状のまま継続する」					
	3 「改善・効率化し継続する」					
	2 「見直しのうえ縮小する」					
	1 「不適正である」					

事業名称	議会評価		特定理由（今後の事業展開）
	総合評価	今後の方向性	
八王子山公園(墓所増設)整備事業	5	5	本事業は、平成 25、26 年度の 2 力年計画で新たに 334 基の墓地を整備することで、緊急分譲のほか、一般分譲を一部行うなど、市民に持続的な墓地を提供するとともに、公園墓地としての景観に配慮した整備が行われているなど総合評価としてはきわめて良好な結果であった。今後も墓地需要が高まることが予想され、新たな墓地造成も視野に拡充を検討することが求められているが、現状では用地確保が困難であることから、時代に応じた方法（樹木葬、納骨堂など）を研究し、限られたスペースを有効に活用していくことが肝要である。また、墓地管理料が長期間滞納される場合や承継者の消滅により無縁墓となってしまう場合の対応として、遺骨を移すための集合墓地の整備や対応マニュアルの作成などが当面の課題であり、先進事例を参考に調査研究し整備を進めていきたい。

